

2018年・戌年の新年が明けました。  
皆さまには、日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

私ども、公明党が掲げる中道の理念は、生命・生活・生存を最も尊重する人間主義でございます。どこまでも人間に光をあてて、様々な意見を幅広く受け止め施策へと繋げて参ります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、皆さまにとりましても素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



プロフィール ■加古川市議会議員1期 ■福祉環境常任委員

## 託児機能付きオフィス「ママスクエア加古川店」がオープン

2015年9月定例会で、女性の働き方改革として出産後の職場復帰に向けた支援について一般質問。

(株)ママスクエアは、「加古川市子育てオフィス整備事業補助金」の交付を受け、「ママスクエア加古川店」を昨年4月11日、ヤマトヤシキ5階にオープンしました。

同オフィスは、デスクワークのスペースと託児スペースが窓ガラス越しに隣接しており、託児スペースにはスタッフが常勤。子どもの姿を常に見守りながら働くことができます。

加古川市は、出産でいったん職場を離れた女性の雇用創出や待機児童対策に期待しています。



ママスクエア・ヤマトヤシキ加古川店を視察

## 加古川市障がい者基幹相談支援センターを新設

かねてより、障がいのある人や、ご家族の皆さんから「親亡き後の生活」についての市民相談が、公明党に寄せられていました。

昨年9月1日、加古川市総合福祉会館内に「加古川市障がい者基幹相談支援センター」が開設され実現をみました。

同センターは、障がいのある人が地域からの孤立を防ぐため、また住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるように、様々な悩みごとの相談支援や制度の案内などを総合的に行います。



## 第2回市議会(定例会)一般質問 2017-03-06

### 小中学校普通教室等への空調設備設置について

問 学習環境を快適にすることで、健康を保ち、授業に集中できるようになれば、学習効率は一段と向上すると考える。空調設備設置の今後の見通し、市長部局における財政面でのバックアップの考え方はどうか。

答 空調設備設置の必要性は認識しており、良好な教育環境を整備していくうえで重要な課題の一つと考えている。一方、校舎の老朽化対策や中学校給食実現への対応等、さまざまな課題がある。施策の優先順位等を考慮する中で、既に空調設備を設置している先進地を十分調査しながら、財源の確保や予算措置等について、市長部局と協議を進めていきたい。



### 地域防災計画から独立した受援計画について

問 防災ボランティア等の力を活かすには、被災地側の「受援力」を高めることが、被災地の復旧・復興を早めるうえで重要と考えるが、地域防災計画から独立した受援計画策定についての見解はどうか。

答 本市の防災計画では、大規模災害発生時の公的機関やボランティア等の受け入れについて、詳細な内容まで規定していない。全国各地の災害対応を見ると、体系化した受援計画の早急な策定が必要と考える。策定にあたっては、兵庫県のガイドライン、今後公表予定の内閣府ガイドラインを踏まえ、地域防災計画との整合を保ちつつ、独立した計画として受援計画の策定を検討していきたい。

## 第6回市議会(定例会)一般質問 2017-12-05

### 高齢者の移動手段確保に向けた地域公共交通網の整備について

問 高齢ドライバーの交通事故防止には、マイカーに頼らなくてもいい環境づくりや地域公共交通の整備が必要と考えるがどうか。

答 公共交通網の整備については、公共交通不便地域での、コミュニティ交通の導入や乗合デマンドタクシーの導入など、地域特性に応じた公共交通の導入を、地域主導のもと検討している。交通弱者の移動支援としてタクシー利用助成制度についても検討することとしている。

## 「政策実現に全力を」

皆さまには、日頃より献身的なご支援を頂き、心から御礼申し上げます。

私は、先般の特別国会より厚生労働委員会の所属となりました。厚労委員会は、年金、医療、介護、福祉、保育、雇用、水道など国民生活に直結する重要な諸問題を審議する委員会です。

政治は結果であるとの信念で、これらの諸問題の解決が一步でも前進できるよう、「おざわ敬子」議員と共に、皆様の様々なご意見をしっかりと受け止めながら、政策の実現に全力で取り組んで参ります。



参議院議員 伊藤たかえ